

まちづくりフォーラムに関するアンケート
(平成31年1月20日開催分 問5～問8自由記述一覧)

問5.

ご自分のお住まいの地域や橋本市が、どんなまちであればよいと思いますか？(あるべき姿)

公共交通（電車、バス等）が充実したまち。 近隣の方々との交流がさかんなまち。 買い物が便利なまち。
近所の人、世界の人、将来の人のことを自分のことのように考え、みんなの幸せな暮らしを目指すまち。 誇りを持てるのでずーっと住みたいし、新しく引っ越してきてもらうように宣伝したくなるので。
ご近所同士で助け合いができるまち。
いろんな生き方、考え方、多様性を認めてくれるまち。その上での助け合いができるまち。 豊かな自然を活かした暮らし（農・環境・子育て・食）、 経済的なではなく、実感として、心が豊かなまち（誰一人見捨てない）。
元気な高齢者と若い世代の人たちが力を合わせていけるまち。助けが必要な人を未来ある子どもたちが支えて行く こうとする意識が持てる子育て後継者育成。
新しい考え方が受け入れられる場があり、これまでの方にも影響を与えられるような地域。 他地域から入ってくる家庭が増えるような魅力のある地域。
助け合うまち。
子どものサポート体制はあるが、子どもが伸び伸び育つ環境が田舎なのにあまりない。農業の若い世代が少ない。 魅力ある方法があるのでは。近畿就農の農産物を優先して学校給食に使うとか。
昔の地域のような、年齢を関係なしに関わりを持てるまち
ご近所同士で助け合いができ、相談できる安心で安全な地域
元気な高齢者がもっと活躍できるまち。 若い世代がもっと活躍できるまち。 将来に不安がなく、ずーっと住んでいたいと思えるまちにしてください。
高齢者が安心できるまち。
小さな子どもから高齢者まで集える場所があり、色々な世代が個々の困り事について話し合い、助け合いができる まち。
気兼ねなしでお付き合いできるまち。
地域のお互いの顔が分かっている。何かあったときに近所に助けを求められる、助けができる地区。
子育てしやすいまち。近所同士で助け合いができるまち。
あまりコンパクトシティ化しないまち。
災害に強いまち。暮らしやすいまち。福祉（医療）が充実したまち。
助け合いできるまち。
昔、隣のおばあちゃんが、おかずを分けて持ってきてくれた。そんな雰囲気のマチになってほしい。
近助ができるまち。
自然の中で、明るく、楽しく、かつ科学的に生きていかなければと考えています。
高齢者が移動しやすく、住みやすいまち。
子ども、大人と一緒に何かできるようなものづくり。

<p>特に何も望まなくても良いまち。 普通に生きていける、暮らせるまち。 元気なまちというのがもうひとつピンとこない。</p>
<p>身体障がい者（肢体、視覚、聴覚、知的他）に優しい、あたたかみを感じる地域や人々のいるまち。近所の人々と気兼ねなしに話し合える地域。</p>
<p>一人暮らしになっても住み慣れた地域で住めるよう、近所の助け合いとコミュニケーションが必要。</p>
<p>地域発展のための取組を、近未来的に捉えて実施する市。具体的には、観光・産業・教育・福祉環境について今までと変革した取組をする市になってほしい。</p>
<p>高齢化が進む地域ではありますが、お互いに助け合い共助の精神を高めていきたい。</p>
<p>落ち着いた雰囲気ですが、個人情報に守られて、近隣のみのお付き合いになっています。</p>
<p>現状は近所同士の助け合いができる地域。</p>
<p>人が集まるまち（心地よいまち）。</p>
<p>ご近所同士で助け合いながら、働き盛りの皆さんの子どもたちを地域で守りながら育ていけると良いと思います。</p>
<p>助け合いができるまちであってほしい。</p>
<p>他地域の方との交流と助け合い。</p>
<p>地域で助け合える地区。</p>
<p>安心できるまち。 自分がやりたいことができる場があること。 人との交流がとりやすい環境がある。</p>
<p>乳幼児から高齢者までが仲良く助け合えるまちづくり。 特に子どもの健全な成長が基本と考えている。</p>
<p>「ゆりかごから墓場まで」。橋本に住んでよかったなあと思う「まち」。 産業（働き手）→若い人が集まる→子どもが増える（希望）→税金が集まる→福祉が充実する→住民が増えるというプラスのスパイラル。</p>
<p>活動に対する「責任」は誰がとるの？と話が出ることが多いです。そこで話が止まってしまう。解決方法はありませんか？</p>
<p>高齢や障がいがあっても住み良い所、地区であってほしい。 皆、やさしい気持ちで暮らせるまち。</p>
<p>助け合いが可能なまち。</p>
<p>世代間交流のできるまちをはじめ、家に閉じこもる方のないみんなで和やかに語り合えるまち。また、身近なことをお互いに体験できるまち。</p>
<p>資金のない中、効果の少ないものは実行しない（例：岡潔記念館はやめるべき）。</p>
<p>協同で生活が出来れば良い。</p>
<p>橋本市のよさを発信できるまち。 助け合い支えあい、ずっと暮らし通せる地域づくり。</p>
<p>畑が宅地になり若い人たちが隣に入り、子らの声も聞こえ、大変よいことですが、もともとの住民との交流がもっと持てて、困っているときは助けてもらえる班であってほしい。</p>
<p>きれいな紀ノ川と緑豊かな橋本市、住みよいまちであると思う。</p>
<p>近所同士で助け合いや協力ができるまち。</p>
<p>健康寿命を延ばして、元気なまちになるといい。</p>
<p>元住民と新規転入者（住宅）の交流。</p>
<p>高齢化率UP以上にコミュニケーション力UPでカバーできるまち。</p>

助け合いのできる町内会。39年住んでいるが、挨拶のみの生活です。
子育てしやすいまち。 隣近所で助け合えるまち。 高齢になっても、自分の行きたいところに公共交通機関で行けるまち。
干渉の少ないさっぱりとしたご近所付き合いから、コミュニティを重視した地域環境を整えたご近所付き合いへ。
高齢者が住みよいまち。
地域（班内）で生活しやすい市ではありますが高齢者も助けるところが多くあれば嬉しい。
公園の整備。
介護認定を受けていなくとも介護保険を払っているの、困ったときには助けてやってほしい。
高齢者が安心して生活できる橋本市であってほしい。
観光を売り物にする市。 農村地域を観光化する。
高齢者はじめ、弱者にやさしいまち。 お互いに助け合えるまち。
災害に対して安全、安心のまち。
第3層が浸透し、みんなで助け合うという土壌。
助け合いを重要視したい。
ご近所同士の助け合い。 安全安心のおだやかなまち。
若者が大学を卒業しても住みたいと思えるまち。
良好な生活環境にしていくために、多くの住民が問題・課題を共有できるまちになればと思う。 有事の際（災害など）に要支援者への対応が迅速に行なえるまち。

問6.

ご自分のお住まいの地域や橋本市の現状（課題・よいところ）はどんなところですか？

自然が多く、経済規模もいい具合。 少子高齢化、ハコモノの老朽化、維持費の増加。
畑や庭周りなどの仕事やおしゃべりを外でしている人が多いので顔がわかるご近所さんがいっぱいなのが好き。自然環境が多いのが好き。 消防団員が少ないのが課題。消防団のあり方などが古いように思う。
区・自治会の活動が活発。
課題：今まで中心を担ってきた人がやはり中心で、新しい人や考え方は受け入れられにくい。しがらみが多い。 人間関係が濃すぎる。＝権力となっていることを自覚してください。 逆に、その人付き合いがしっかりしているところがいいところでもある。
高齢化などによる近所同士のつながりの希薄化
自治会に関わっている方とそうでない方との乖離。
景色がきれい。世界遺産があるので、それを活かしたい。 子どもたちがのびのび生きている。
空き家はあるが、住みたい若い人もたくさんいるが、持ち主は手放さないの、田んぼも耕作放棄。 子どもが少ないので遊ぶつながりがない。 区の月一会議は新しい意見が入りづらい。新しいことをする元気がない。「もう疲れた」が多い。
老人クラブの活動が多い。元気な高齢者と協力できる地域である。

自治会の活動が活発ですが、高齢化が急速に進んでいます。活動の担い手が将来減少するのが不安です。
高齢化が進む中、もっと若い人たちが地域で活躍してほしい。 私の住んでいる地域も高齢化が進んでいますが、区長さんが頑張って若い世代との交流ができるよう、色々考えてくれています。やはりこの区長さんが変わってしまうと…との不安がすごいです。
人口減（税収減）。インフラ等維持。
高齢化率が高く、近くで子どもの声が聞こえない。自治会活動にも支障が出てくるかも。
区・自治会の活動が先進的。区長さんが若い。
近所同士のつながりがまだまだ少ない、薄い。
住民の気質が温和。
地域によって、ボランティア活動が活発なところとそうでないところがある。
空き家が増えて、人口が高齢化しており、子どもが少なくなっている。
高齢化のため自治会活動に参加する人が常に同じ。
分譲住宅地なので、結びつきが希薄だと思う。
気軽に声掛けができ、自治会にも高齢化が進んでいる。
近所同士のつながりが希薄化している。
各地元の団体が活発に活動してくれている。
市内においては人口の増えている所ですが新しく区民となられた方をほとんど知らない。知り合える催し等がない。
防災上の観点で自身の生活地域にどんな障がい者が住んでいるのかという情報を地域住民が共有していける、活用していける、助け合える地域になってほしい。
買い物難民で困っている。 毎日清掃をやってくださる方のおかげで、ゴミの少ない町になっています。住民も気をつけるように意識が変わってきています。
観光客を取り込めていない…観光：各種施策の総合力が問われるもの 宿泊客が少ない…非日常体験のできるイベント呼び込み 教育施設がない（短大、大学、専門学校）…将来を担う若者の定住化
高齢化がすごいスピードで進んでいる。マンパワーも厳しい状況。でも、まだまだ地域でのつながりに協力していただける方もいるのが救い。
市民病院や消防署があり、緊急のときは心丈夫です。 高齢者や独居家庭が増加しつつ、集会所でのサロン活動もやや固定化傾向だと思います。
安全なまち。
宅地が出来て27年の自治会ですが、周辺の地元の皆さんに支えられて、交流が持っているといます（小峰台）。
近所同士のつながりが希薄化している。 自然が豊かなところを何かにかかせないかと思う。起伏があり、体力づくりの散歩には最適。
地区では、年1回の運動会（今までに約40年近く）、クリスマス会を2年に1回行っているが、言葉が悪いが引きこもりの家の人が多く困っている。
地域は高齢者を大事にするとやっているの嬉しいし、私も出来ることがあれば積極的に参加しています。高齢者に声をかけることができるようになりました。
段々と高齢化が進み、独居老人が増加。また、空き家が増えてくるなど不安が多い。
高齢者が住民の70%ほど（私の予想）に間もなくなくなる。 隅田では、旧の在所と新興住宅民とのつながりが薄いと感じる。
自分の地域は近所同士のつながりは強くあり、ありがたいと思っています。

同居世代が少なくなっています。子どもがいないので、子育てや子どもの行事がわかりません。
子どもの出生率の低下、子ども減少。
近所同士がさらに深まるような活動が、少しでも深まるような活動を小さなことから増やしていければと考える。
高齢者が増す中、今行政がやろうとしている課題は、身を持って感じている。
地域の子どもと遊ぶことにより、楽しく笑顔をもらえる地域づくり。 近所同士のつながりは出来ているが、更に絆を深めることが大切。 橋本市へのお願いは、公共交通の活性化を進めてほしい。
新住人は子らの年齢も近く交流もあるようですが、今までの人たちとはもう一つ…と思える。
元気なお年寄りが、サロン、グランドゴルフ、カラオケに進んで参加、「げんきらり〜」など、忙しい日々を元気に暮らしている。
近所同士のつながりが少ないところがある。孤独死が2件あった。
地域愛が薄い。
住民同士の交流の機会が少ない。趣味の会等で集会機会が増えればと思います。
夏祭りなど、全住民参加行事が年間を通じて実施している。
これまで通りの自治会、新しいことにチャレンジしたくない自治会に地域の未来が見えない。
個人プレーの生活はこの世代では直らない？二世、三世の時代に生まれると思う。
弱者を助けるという気持ちを持っている人がたくさんおられる反面、隣近所のお付き合いが希薄にはっている。
買い物の不便性（地区に最寄の商業施設がない）。 公民館の移転問題（コミュニティの参加できる施設の欠落）。
区や自治会及び民生委員との協力により、子ども、高齢者が住みよいまち。
近所間のつながりは良いが、高齢者と全家族が減ってきているので、なァなァなことが多く残念。
高齢者が多く、家の件数も少ない。
高齢者の活動（サロン等）で、男性の参加率が悪いので参加率向上。
高齢化、耕作放棄等があり、限界化している。
子どもが少なくなりつつある。 年齢層の断層が見られる（つなぐことが難しい）。
なるべく言葉をかけあって、つながりを重要視したい。
災害の少ない、利便性のよいまち。
都会に近い田舎。子育てしやすいところ。
まちづくりに対する関心度が低い。参加しやすい行事を！

問7.

問5（あるべき姿）と問6（現状）の差を埋めるためには、どんなことが必要だと思えますか？
または、どんなことができると思えますか？

①ご自身

地域自主組織や小規模多機能自治などの学習。
若い世代と地域をつなぐために何をすれば良いかと考え、動く！
人口増となる魅力のある住みやすいまちにする必要がある。
行政活動への参加。
地域でのネットワークを深める。

地区活動に積極的に参加する。
地域活動への積極的な参加。
やる気。ボランティア活動。
将来のことを考えて、今から準備する。
できるだけ近所の付き合いをしていく。イベントを企画する。
前期高齢者であるが地域活動に参加。
個人情報保護が邪魔をしている。
各団体が一緒に行動できるようなものづくり。
外へ出る。歩き回る。元気な老人はいっぱいいます。
民生委員・児童委員として、住民の声を聴き、寄り添っていきます。一緒に動きます。支える活動につなげます。
地域に関する行事等に取り組む。
できる限り、話し合いの場を設け、問題解決を図っていきたい。
色々な研修や講演会を拝聴しながら、我がふりを反省しております。
老人は、運動が必要です。ウォーキングが盛んになってはおりますが、このエネルギーを市や地域のために利用できるはず。
地域の皆さんと元気で語り合えるようにしたいです。
まず家族間の助け合い、近所とはつかず離れず、困ったときには手を差し伸べられる関係。
個人情報の壁。防災のときでも近辺の人の名前がわからない。
楽しく参加する。無理をしないこと。
仕事の合間を見つけて、地域の活動に参加し、地域の方々とのつながりを大切にしていく。
お声がかかれば協力させていただきます。自分からアイデアを出すのは苦手です。勉強不足です。
行政任せではダメと理解。
積極的なボランティア参加。
いろいろな方へ呼びかけ、協力を得る。
市民によくわかってもらう。理解が薄い。
後継者をどのようにして育てるかが最大の課題。
積極的に子どもたちに声をかける。
区民の足である車での送迎。
体力づくりのため、げんきらり～自主運営教室に参加。筋力増強に努めているところである。
周辺の住民と一緒に参加。
前向きに頑張っている。
私自身弱者を支援する気持ちはあるが、誰がどんなことで困っているか情報が少ないので、隣近所の付き合いを活発にしたい。
人とのつながり。
動ける間は、協力いたします。
積極的な参加と働きかけを行ないたい。

何にでも顔を出す。
地域活動やボランティアにもっと参加する。 SNSを通じて橋本市のよさを発信する。
無理のない範囲での地域参加。

問7.

問5（あるべき姿）と問6（現状）の差を埋めるためには、どんなことが必要だと思いますか？
または、どんなことができると思いますか？

②地域

住民の年齢層、生活にあわせた活動。
いろいろな人の意見やニーズ、アイデアを吸い上げられるような工夫。頭や心をOpenにすること。
自治会の活動方法を変えていく。
1人1票！アンケートをとる。
高齢者の育成
地域行事に、とにかく顔を出す。
どんなニーズがあるのか、声を吸い上げるところから。
地域自主組織や小規模多機能自治の啓発（区民）が必要。
高齢者の方と若い世代の交流。若い世代に任せることを増やす（高齢者の方は、任せる！アドバイスは必要だが文句を言わない）。
活動する人の輪を広げる。
気の合う人同士が集える場づくり。
後継者の育成。
取り組み意識。
助け合い及び自助努力、共助も進めていく必要がある。
イベントを実施する。
空き家が増え、若手がますます少ない。
一緒に行動できるような連携。
ふれあい事業。以前は「綱引き」等あったが地域行事（秋祭り等）への参加を促す。
自分たちの大切な地域、まちづくり。
住民参加形態をどう実現させるか。
近所同士の助け合いの精神というか考え方は皆持っていると思う。
高齢者や体の不自由な方々も増えてきて、また、運転免許証の返還等々で買い物など大変そうです。
今現在、地元境原小学校で、子どもたちに琴の指導を通じて伝統文化の継承と子どもたちの健全育成に努めています。今後もできるだけ長期に渡り続けさせてもらいたいと思います。
自治会のあり方を考え直すべき。多忙、高齢化に合う形に変える。今は毎年同じことを繰り返していると思う。
地区において、区員に入らない人が多く困っている。
いろいろな人の意見を集める。一人ひとりが住民となるように。
お互いがサポートする、安否確認できる機会を増やす。
一つの地域だけでは、カモ資金にも限りがあるので、今日のようなフォーラムを通じて、互いに情報交換をしたり、行政に要望や助言を求めたり、自治体全体で考えていかなければと思うが、具体策は考えつきません。

「個人情報保護」が課題です。
区の実態に期待。
若い人とのミーティング。
協力して下さる方が更に拡散し、一人でも多くの方に集まっていたらいい方法を考えていくようにしたい。
もっと若い人に説明。
集会時には、一戸一人ではなく、女性たちにも参加してほしい。
助け合いを地域の人にも協力を。
絶対的な「誇り」を突出させる。
げんきらり〜への参加希望者は増加傾向にあり、健康づくり、地域のコミュニケーションの関心度は高まっている。
前向きに参加している。
新規行事の計画、実行。 若い方を中心にした実行委員の組織づくり。
地区内の交通媒体の見直し（高齢者で自家用車がない、使用できない人々）。
地域で色々な方が参加できるイベント等の回数を増やし、情報を得やすくする。
障がい者や高齢者といかに付き合えるか？
地域内に市内での活動状況等をもっとわかりやすくしてほしい。
地域愛。
小規模多機能自治を地域に当てはめて、深く検討する。
地域の交流事業、自治会の統合。
住民それぞれが課題を共有することが大切。 参加しやすい地域活動の構築。

問7.

問5（あるべき姿）と問6（現状）の差を埋めるためには、どんなことが必要だと思いますか？
または、どんなことができると思いますか？

③行政

小規模多機能自治。
難民、移民の方を積極的に受け入れる。SDGsの市内での促進。
こういうフォーラムを継続してください。
情報の提供とサポート・若い世代への意識づくり。
頑張りを見せろ。小学校などにどんどん入っていき、意識改革！！
どんなニーズがあるのか、声を吸い上げるところから。
地域自主組織や小規模多機能自治のソフト内容について醸成補助活動。地域担当職員制度の活性化と進化。
本当に必要なところにお金を使う。市がこれから力を入れていこう！と思うのであれば先ず予算を！
地域と関わる。
きっかけ作り。

地域の自主性の尊重。
適正な補助金。
市として地域に必要なもの（共同体）を自治会、区にプラスαでバックアップしてできる体制に徹する必要がある。
防災講話等区民との接点を増やしていく。
多種多様な組織、法令、行事など、まとめて整理が必要。
地域を足で歩いてみる。
一緒に行動できるような支援づくり。
金もないし無理は言えない。行政に力があればこういう催しも必要なかったのでは？
地域を支えてください。地域住民で提案していきますので。
はぐくむ条例で具体的に実施する中身を発信、継続する。条例とは市民の義務化と権利の制限につながる→その上で実施すべき内容は？例：公営ギャンブル誘致？
現状は分かっていると思うので、問題点については連携していただきたい。
学校行事や敬老会などで協力していただいております。
まちの掃除とか、小さなことから始める等、金を使わずできることを市役所が始めることで、市民の心が変化するのは。「率先」。市の財政の負を市民に全てまくるのはどうか。
元気な高齢者が多いと思うので、シルバー人材センターをもっと活用アピールしては。重要視してほしい。見直ししてほしい。
地域の人の話を聞く（耳を傾ける）。
課題に集中して行政を進めていく。
一つの地域だけでは、カモ資金にも限りがあるので、今日のようなフォーラムを通じて、互いに情報交換をしたり、行政に要望や助言を求めたり、自治体全体で考えていかなければと思うが、具体策は考えつきません。
市所有の空き施設を、手軽に貸し出し、有効に活用してはどうかと思います。
地域に職員が出てきてくれているとのこと、進んできていますね。
地元で働けるまちづくり。
地域から行政に訴えかけていけるようにし、それに懇切丁寧に答えていける行政であってほしい。
外貨獲得の方法を考えてほしい。
充分説明。
高齢者が往来できるような交通施策。
第2層の「助け合い高野口」の一員として立ち上げましたので、これから動かしていくところです。バックアップよろしくお願いします。
引き続き市の支援を望むと同時に、体操以外に栄養を取り入れた地域への指導を願いたい。
アドバイスの実施。 補助金の交付。
前向きに頑張り、前向きに地域活動に参加しているが、行政に届いているのか？

職員の「枠（担当）」にとらわれず、自分の担当外の相談にも応じられる職員を養成する。
地区内の交通媒体の見直し（高齢者で自家用車がない、使用できない人々）。
福祉の充実。
口も出すが金も出す。
橋本市のよさをもっとPRする。 ボランティアの支援。
コーディネーターの配置。

問8.

本日のフォーラムを通して、感想、ご意見、ご提案などをお書きください。

来て本当によかった。そして多くの区長さんや役員さんが来てくれているのも安心。これから何か変えていったり、議論するときに話が早いし、出発点にみんな立っている状態なので。 1回限りだと変化につながるの難しいので、これからフォローアップをしっかりと行政にしてもらって後押しして欲しい。
川北さんの講演が良かった。LINEで区の会議、区長2人制等、他自治会の例が参考になった。
とてもおもしろかったです。モヤモヤ→スッキリ！よく言って下さった！という感じ。 戸島さんの発言、すばしかったです。 様々な人がみんな、ごちゃごちゃ言いながら、楽しく生きていけたらいいなと思う。私もできることをします！サービスとなってしまった、教育、行政etcを一から見直すのが大切だと思いました。全ての人を見捨てない橋本にしたいです。
問題山積みの橋本市であるが、これだけ多くの人たちが今日の話聞いて何かを感じて帰ってくれたなら、少しずつ解決に進んでいくのではないかと期待しています。 私自身も意識が低かったことを感じたので、自分にできることを検討してみたいと思います。
キックオフということで、何をやるのであろうかと思い参加しました。とてもいいフォーラムでした！川北さんを連れてきたのはナイスです！ 疑問としては、どう始めていくのか…です。誰から、どうやって…
大変勉強になりました。市の状況に関して、今まで聞いた現状把握の中で一番分かりやすく、危機感がありました。 また、年金という外資を地域に落とす仕組み！！本当にそうだなあ～と思いました。競争社会的考え方と、人と人とを笑顔にする！！など、福祉的考え方のマッチングですね。ゲーム感覚でおもしろいかも！！と思いました。現勉強になりました。ありがとうございました。
行政任せでは、色んな歪が広がるだけなので地域ごとにまちづくりを考えたい。 若い世代は、もっと行政にかかわりたい、暮らしを良くしたいという人が多い。
数字が分かりやすく説明がすんなり入ってきた。
防災減災など安心安全なまちづくりの中でサービス内容の低下を防ぎながら小規模多機能自治へ進んでいく必要と考えます。
良いお話を聞かせていただきました。橋本市で…自分が住んでいる地域で…自分の子どもが通う学校で…もっともっと何かできることはないか…と考えさせられました。
自分たちの地域は自分たちで守る。市内住民が皆その気持ちを持って取り組むことを続けることが大切かと。定年を迎えてからは、地域に関わり続けることに進んで取り組みたいと思います。
大変勉強になりました。「誰かがどうにかしてくれる」と思っていたはいけないという言葉、胸に刺さりました。 いつかでなく、今から始めていくことが重要だと考えさせられたように思います。
「～してみる」、頭も心も柔らかく、が大事と感じた。
川北氏の話とてもよかったです。

本市の高齢化の現状と社会インフラ等の将来予測についてお聞かせいただき、市として今後、将来持続可能な行政を市民とともに進めていくことの重要性を改めて感じました。

若い世代の参加がほとんどなかったのが残念。

高齢化、子どもの減少…まるで44年前に流行ったノストラダムスの大予言のような絶望感を感じる。国として施策を立ち上げるだろう。考えられることは、他の国の人間を労働力とし、男女ともに日本人との恋愛が発生し、田人種国家となることで、消滅は免れる。この減少が市町村にも波及する。

柔らかい頭で発想の展開ができる地域活性につながる活動が必要と感じた。またいかに若い人を地域活動に引き込んでいくかを取り組んでいくこと。

数字のデータ、理論はさておき、そうなることは明白であると思う。自ら何ができるかということかなと思います。

川北先生の話は本当によかった。
小規模多機能自治は初めて聞きましたが、そのとおりだと思う。
家で5年・10年後を話すとケンカになります。

今後の自治会組織の在り方を示されたように思いました。
地域の特性を考えないといけないと思った。

資料作成時にホチキスを止める位置は全市内で統一してほしい。見やすいしめくりやすくなる。一考をお願いします。

小規模多機能自治、すばらしい考えです。自分の地域でも実践したい。

取組事例は大まかに理解できました。
はぐくむ条例についての議論や疑問をしたかった。
クロストークよりも質疑時間を取ってほしいと思いました。

なかなか、ためになる話であった。
区長をさせてもらっているが、色々考えることが多かった。
もっと、発想を転換して地域づくりにつなげていきたい。

全市で高齢者が3分の1に統計上なっているが、本日の講師先生の話でも「何とかしなければ…」「何とかしよう！」に変わってきている。
クロストークの討議、良かったです。

人口減少はやむを得ないが、減少傾向を少しでも少なくする工夫はないのか？市内の生産年齢人口が低すぎるのではないか。

今夏、和歌山市で開催された共育フォーラムの全国大会に参加させていただき、今日又この会に参加させていただき、大変参考になりました。自分にできる範囲で、協力させていただく所存です。私の生まれ育った橋本のために！

非常に危機感を持ちました。時代に合った合理化が生活全てにわたって大切だということを実感しました。
自分にも何かできないか、考えたいと思いました。
変わるために大切なのは、危機感を持つ人が一人でも多くなることだと思います。
今日のお話とは関係ないですが、見直してほしいことがあります。公園の剪定、草刈は、時期、人数にかなり無駄があると思います。再考ください。

橋本の将来（人口、人口構成）について、数字を具体的に感じる事ができた。

大切なことがわかった。今後の活動に活かしたい。

子育て部分（世帯）に易しい橋本市であると言われて嬉しく思いました。高齢者も元気に笑い合いながら日々を過ごせるまち（地域）にしていきたいと思いました。

時代に合った地域づくりが必要。行政ばかりに依存せず自らで出来ることは自分でしなければならなくなってきている。

今日は一部の活動報告だったが、他の地区も活動されていると思うので、何かの機会に目にしたいと思う。
空き家をリフォームして、光熱費は自払としても家賃を無料にしたり、移住手当てを出したりして、人口を増やし、新しい風を取り込む。

現状を維持するのは大変なことです。ちょっと違うことでも「やってみる」のはもっと大切なこと…というのが心に残りました。よいお話。ありがとうございました！

<p>地区自治会役員として、これからの運営に役立つヒントがたくさんありました。</p>
<p>右肩下がりの橋本市の現状が理解できました。 先延ばしにしてきた行政を宣言した市長…これからの取組、舵取りに期待します。反面、市民として地域の取組に協力します。 小学校での取組（老人とのふれあい）も聞けました。</p>
<p>大変参考になるフォーラムでした。</p>
<p>いろいろ学ぶことの多いフォーラムでした。微力ながら、身近なことから一つでも取り組めることがないか模索していきたいと考えた。</p>
<p>よくわかった！</p>
<p>勉強できました。当地区は健康老人が多く、地域はこれらの人で楽しく暮らしていますが、50前後から65歳くらいの人たちをリーダーとしてどのように育てるかが課題。</p>
<p>急速に進む高齢化。自分が思っていたより早い！ 自分だけでもまわりに迷惑をかけないように、自分の健康に気をつけたい。</p>
<p>地域の大切さを学んだ（行政よりの自立）。 市の職員ももっと地域（区）への関わりを持って、活動に参加してほしい。</p>
<p>話を参考にしていく。</p>
<p>はぐくむ条例が今後どのような形で進捗するのか見守っていききたい。PDCAを回した展開を希望します。 はぐくむ条例をうけて、行政職員のそれぞれの部署において何を成すべきか課題と目標を決めて従事してもらいたい。その中で求められる行動規範を示してもらいたい。</p>
<p>行政の前へ出るように、組織をつくり、頑張りたいと思う。 本日は良い話をありがとう。</p>
<p>今日聞いたことを地域で少しでも役立てたい。</p>
<p>地域運営組織を期待します。 区長制度の見直しを求めます。</p>
<p>高齢者にとって、休憩なしはつらかった。 川北先生の講演はわかりやすく、自分たちの活動におおいに参考になりました。ありがとう。</p>
<p>地域住民による生活サービスの運営、管理がより必要となっていることを認識している。</p>
<p>小規模多機能自治で人と人とのつながりの大切さを感じた。</p>
<p>大変良かった。今後もっと市全体に広げてほしい。 各地区によって状況が違うので、それと各地区の活動状況報告が知りたい。</p>
<p>若い人がほとんどいないので、他所からのアドバイスが大いに必要なと思います。昔からの祭り事も、人数の問題で減らしました（例：伊勢講をやめる、大師講年3回を1回にする）。</p>
<p>本日の講演会（フォーラム）に参加し、現在実行中の高齢者の見守りやささ愛橋本の深度化を図りたい。</p>
<p>自分自身で懸念している点をズバッと指摘された。今後、区・自治会をどうするか皆と考えたい。</p>
<p>今後勉強していきたいと思います。</p>
<p>初めての参加で少し理解しにくかった。最後には少しわかってきたような気がします。</p>
<p>自分の住んでいる地域（市町）の状況はどうなのかも気になりつつ、とにかく柔軟に対応できる頭と将来を見通せる力が大切だと感じました。</p>
<p>川北先生の話は大変よかった。橋本市のデータを基に今後どうなっていくか、地域・市民が何をしなければならぬかのヒントを与えてくれた。 今の地域自治を支えている65～75歳の元気がある高齢者が減少していくのはあまり今まで意識していなかった。</p>
<p>危機意識、きっかけ、取り組む意義、必要性を認識するよい機会となりました。</p>